中国地方整備局活用報告

～立地適正化計画作成相談におけるPR～

中国地方整備局建政部
都市・住宅整備課

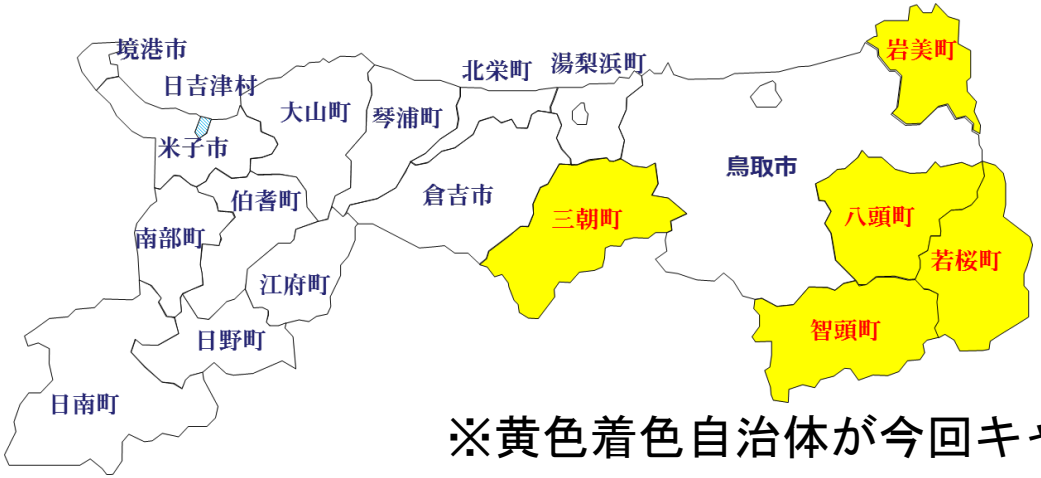
1. 立地適正化計画促進キャラバンの実施

中国地方整備局では、平成26年に改正した都市再生特別措置法及び地域公共交通活性化再生法に基づき、都市全体の構造を見渡しながら、居住機能や医療・福祉・商業等の都市機能の誘導と、それと連携した持続可能な地域公共交通ネットワークの形成を推進するための計画である「立地適正化計画」の作成を促すためキャラバンを鳥取県内の5町にて実施。

そのキャラバンの説明の中で「都市の可視化」サイトを使用し、実際に操作を行いながら説明を行うことで、町の実状をビジュアライズ(ビジュアル化)しながら課題について話をした。

実施日：平成30年12月20日(木)～21日(金)

鳥取県



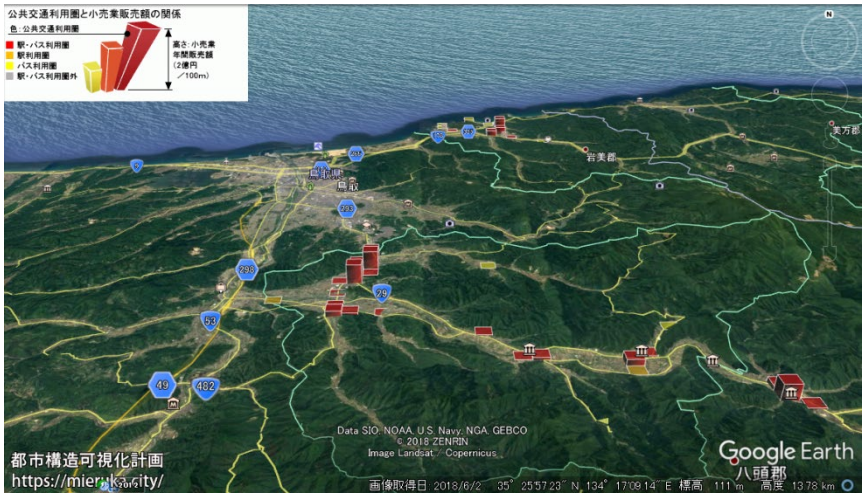
※黄色着色自治体が今回キャラバン対象町

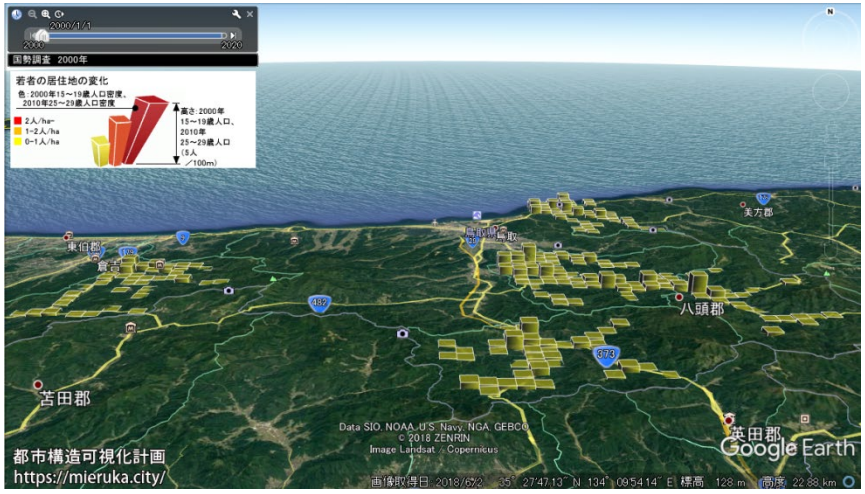
2. 各自治体での説明状況

立地適正化計画を作成する上で、将来人口の推移状況から居住誘導区域をどの範囲とするかの参考としたり、公共交通の利用状況から、都市機能誘導区域と居住誘導区域を結ぶ交通網をどのようにしていく必要があるかなどを検討する場合に、当サイトが参考になることを説明。

2. 各自治体での説明状況

各町の状況を色々な統計データで説明





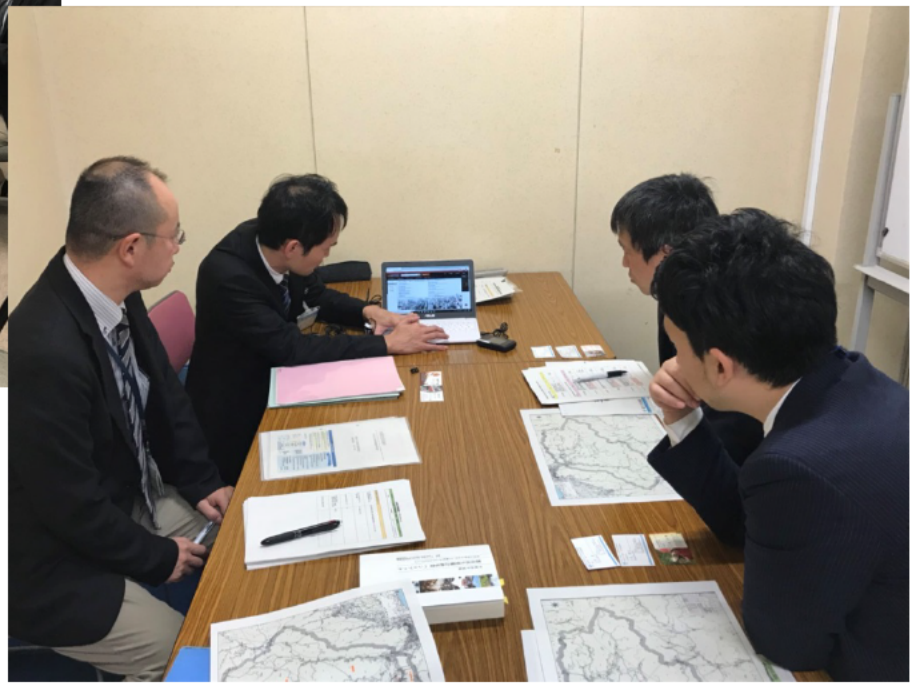
2. 各自治体での説明状況

鳥取県智頭町での説明状況（説明者：辻野都市・住宅整備課長）

2. 各自治体での説明状況

鳥取県若桜町・三朝町での説明状況（説明者：日高企画調査係長）

鳥取県若桜町



鳥取県三朝町

３．説明後の各町の反応

◆説明後の各町からの反応としては
　〇地図上で傾向を見ることができ、数値と比べて分かりやすく、参考になる。
　〇色々な統計データがあり、今後使ってみたい。

　加えて

　〇3Dマウスは高価であり、なかなか購入は難しい。
　〇3Dマウスの操作は難しそう。
　〇はじめて「都市の可視化」サイトを見た。

　などの声があった。

◆説明を行っての感想
　〇まだまだ不慣れな点があり、システムを使いこなせるよう練習が必要。
　〇色々なデータを組み合わせて説明するまでには至らなかったため、データのおもしろい見せ方など研究する必要があると感じた。

中国地方整備局建政部
都市･住宅整備課